

## 令和元年度第2回シンポジウム

# 地域循環共生圏形成における資源循環分野の果たす役割と可能性

## — エネルギー回収及び GHG 排出削減 —

2020年2月17日

環境省

廃棄物資源循環学会

[趣旨] 統合イノベーション戦略推進会議により「革新的環境イノベーション戦略」(令和2年1月21日)が決定された。同戦略では、気候変動の緩和が喫緊の課題となっていることを踏まえ、資源循環分野においても2050年には、温室効果ガスの排出量を80%削減するための戦略とロードマップが示されており、資源循環分野においても今後の適正処理システムにGHG削減対策を講じることとされた。ごみ焼却施設におけるエネルギー回収やその利用の高度化は、国際的な潮流となっているが、この戦略によりGHG回収やその有効利用を含め革新的なシステム構築が求められることとなった。

第四次循環型社会形成推進基本計画において「地域循環共生圏」の形成を目指すとしており、同戦略における資源循環システムの革新的進展のためには地域循環共生圏形成との連携が極めて重要といえる。

以上を踏まえ、廃棄物資源循環学会では、「地域循環共生圏形成における資源循環分野の果たす役割と可能性—エネルギー回収及びGHG排出削減—」と題するシンポジウムを開催し、資源循環分野におけるエネルギーの回収及びその有効利用並びにGHG回収技術の現状と展望について話題提供を行い、地域循環共生圏形成へ道筋について討論を行うこととした。

[主催] 環境省、廃棄物資源循環学会

[日時] 2020年3月2日(月) 13:30~17:00 (受付は13:00より開始)

[会場] 航空会館 7F大ホール (東京都港区新橋1-18-1)

アクセス: <http://kokukaikan.com/about/access> 03-3501-1272

[交通] 地下鉄都営三田線内幸町より徒歩2分又はJR新橋駅より徒歩約10分(詳細情報は上記アクセスをご覧ください)

[定員] 100名(事前申込み制)、自治体関係者を優先

[参加費] 無料 シンポジウム後に意見交換会を予定

[参加申込み] 学会ホームページ ([https://jsmcwm.or.jp/?page\\_id=17972](https://jsmcwm.or.jp/?page_id=17972)) から申込みください

### [プログラム]

13:30~13:35	開会の挨拶	廃棄物資源循環学会 会長 吉岡敏明 (東北大学)
13:35~14:00	地域循環共生圏形成について	名倉良雄 (環境省)
14:00~14:25	フィードストックリサイクルの現状と将来展望について	吉岡敏明 (東北大学)
14:25~14:50	さまざまな排出源からのCO2分離回収技術	北村英夫 (東芝エネルギーシステムズ株)
14:50~15:15	「脱CO2・循環型社会」に向けたIHIの取り組み ~カーボンリサイクル技術の開発動向~	成相健太郎 (株IHI)
15:15~15:40	化学蓄熱によるオフライン熱輸送技術の開発と今後の展開	堀井雄介 (トヨタ自動車株)
15:40~15:50	休憩	
15:50~16:50	パネルディスカッション	コーディネーター 酒井伸一 (京都大学)
16:50~17:00	閉会の挨拶	
17:10~19:00	意見交換会 (航空会館801会議室)	

以上